

ODIP 4.4 修正パッチ (P1040404005931) リリースノート

2024/6/13

(株) インテリジェント・モデル

ODIP は、(株) インテリジェント・モデル社の登録商標です。

本書に掲載された情報に基づいた行為の結果として発生した損害、利益の損失、経費などについて、(株) インテリジェント・モデルならびに本書の製作関係者は一切の責任を負いません。

本書は著作権法上の保護を受けています。本書の一部あるいは全部を無断で転載・複製することは法律で定められた場合を除き、禁止されています。

目 次

A. 変更内容	4
1. job.groupaggr.union.all=false で発生するエラーの修正.....	4
2. 異なる JoinGroup 間の結合に関する問題の修正.....	4
B. パッチ適用による影響	5
C. パッチの適用方法.....	5
1. ライブラリファイルの更新.....	5
2. パッチ適用後の確認.....	5

A. 変更内容

1. job.groupaggr.union.all=false で発生するエラーの修正

次の①または②の条件にすべて一致するジョブを、ODIP 設定ファイル (odip.ini) の job.groupaggr.union.all に false を設定した状態で実行すると、実行時にエラー「java.lang.ArrayIndexOutOfBoundsException」が発生する問題を修正しました。

① 条件 1

- ・ Union が複数存在する
- ・ グループ集計を使用している
- ・ 管理単位属性の一部がソートキー、選択属性のどちらにも定義されていない Union が存在し、その Union の入力データセットの PKEY に管理単位属性と同じ属性が存在しない

② 条件 2

- ・ グループ集計を使用している
- ・ Union1 のソートキーの属性の数が管理単位属性の数より少ない

2. 異なる JoinGroup 間の結合に関する問題の修正

(1) リレーシヨンの定義が SQL に反映されない問題の修正

異なる JoinGroup のデータセット間のリレーシヨン定義でリレーシヨン属性に指定した条件が、ODIP が実行する SELECT 文の ON 句に反映されない場合がある問題を修正しました。これは、下位 JoinGroup の先頭以外のデータセットとのリレーシヨン定義で発生していました。

(2) リレーシヨンの定義で式/関数を使用すると実行時にエラーが発生する問題の修正

異なる JoinGroup のデータセット間のリレーシヨン定義で下位 JoinGroup のリレーシヨンキーのみ式/関数を使用すると、実行時にエラーになる問題を修正しました。

B. パッチ適用による影響

既存の定義への影響はありません。

C. パッチの適用方法

本パッチは、次の ODIP 製品に適用してください。

- ODIP アドミニストレータ v4.4
- ODIP オペレーションマネージャ v4.4
- ODIP リポジトリマネージャ v4.4
- ODIP プロセスマネージャ v4.4
- ODIP リポジトリサーバ v4.4
- ODIP トランスフォーマ v4.4

1. ライブラリファイルの更新

実行中の ODIP 製品を終了し、ODIP_P1040404005931 フォルダに格納されているライブラリファイルを、表 1 のファイルのコピー先に上書きコピーしてください。

表 1 ODIP_P1040404005931 のフォルダ構成及びファイルのコピー先

ODIP_P1040404005931	ファイルのコピー先
lib	
ADM	ODIP アドミニストレータの lib フォルダ
OPE	ODIP オペレーションマネージャの lib フォルダ
RPM	ODIP リポジトリマネージャの lib フォルダ
RPS	ODIP リポジトリサーバの lib フォルダ
TFM	ODIP トランスフォーマの lib フォルダ

2. パッチ適用後の確認

パッチ適用後は、各製品を起動し、表 2 の確認方法に従って確認を行ってください。

表2 パッチ適用後の確認方法

製品名	確認方法
ODIP アドミニストレータ	ヘルプメニューから“ODIP について”を選択し、表示されたすべてのビルド ID が 1040404005931 であることを確認してください。
ODIP オペレーションマネージャ	
ODIP リポジトリマネージャ	
ODIP プロセスマネージャ	
ODIP リポジトリサーバ	ODIP リポジトリマネージャのツールメニューから"ORMS サーバ情報"を選択し、“バージョン情報”タブを開き、表示されたすべてのビルド ID が 1040404005931 であることを確認してください。
ODIP トランスフォーマ	ODIP トランスフォーマを起動し、showserver コマンドを、オプションに“-info version”を指定して実行してください。表示されたすべてのビルド ID が 1040404005931 であることを確認してください。

以上